

築田寺だより

Ryoudenji Letter

〔行事〕

己の利を忘れて他人の利を考え
与えることこそ慈悲の極みである

九月二十二日十四時より
秋彼岸会大施餓鬼
を厳修いたします。

本年も恒例大施餓鬼会を厳修する
時期となりました。昨年同様、真夏
を避け、秋彼岸会中日（九月二十二
日・秋分の日）に行います。

本年は春に新型コロナウイルスの流行があ
り我慢の月日でした。今では収まり
つつあるとは言え、第二波、第三波
の心配もされています。健康には配
慮して、尚「一生あれば死あり」と
覚悟して一日一日を大切に、一瞬一
瞬を他人を思いやり優しく悔いなき
ように生きて参りましょう。そして



八重の蓮

また、過去に対し「感謝・報恩」の
心を忘れず、次代に希望を引き継げ
るようによきたいものです。

本秋の行事は「三密」をさける為、
堂内に施餓鬼壇を設け、本堂前に
て焼香していただくように形をか
えて行います。ご協力をよろしく
お願い申し上げます。出欠のご連
絡は**八月末日まで**に同封のながき
にご記入の上郵送してください。
尚、お盆供養は八月十五日十時参
集です。どなたでもおいでください。

お盆

8月13日(木)～15日(土)

◆新盆の方

8月13日午後 お宅に訪ね、盆
供養いたします。※申込者のみ
(近隣地凶事前にお渡しください)

◆旧壇家の方

8月14日 例年通りお伺い
いたします。

◆檀信徒盆供養

8月15日10時より 本堂にて
一緒に先祖供養致しますように。
(お布施 三阡円程度)

大施餓鬼会

9月22日(火・秋分の日) 14時～

14時～

◆施餓鬼法要・塔婆供養(内陣にて)

※檀信徒は本堂には入れません。
※出席の方は、本堂内施食棚に向かい
手を合わせ焼香いたします。

◆焼香が終わった方から

順次塔婆をお渡しします。

※塔婆の引取りはゆつくり時間に合わ
せておいでください。

※花はこもれば堂前にて販売します。

◆施食はありません。

※瓊花のおまんじゅうを差し上げます。

17時～

◆YATOプロジェクトによる

影絵イベント

(後日、オンラインで配信します)

◆塔婆一事前申込み(一本参阡円)

お布施 一随意

不参加一金壹萬円を現金書留または銀
行振込にてご送付いただけましたら幸いです。

◆三井住友銀行 町田支店(847)

(普通) 6605858 宗教法人築田寺

出欠・塔婆の申込みは同封のハガキに
ご記入のうえ、**8月末までに**郵送して
ください。当日は、体調がすぐれない
場合や体調の異変、風邪の症状がある
場合は決して無理をしないでください。

〔偶感〕

すべての出会いに
感謝しよう

新型コロナウイルスだって
私たちの人間至上主義を打ち
砕く明王さま。

心が暗ければ出会うものはす
べて災いとなり、心が太陽の
ように明るければ幸いとなる。
その為に出会う人出会うもの
すべてに、ありがとうと感謝
することです。焦るとろくな
ことがありません。ゆつくり
マイペースでいきましょう。

生活方法の変化に伴い、だ
んだんとすべてのものが変
わっていきます。「新しい生活」
柔軟に、より優しくより前向
きにいきましょう。住みにく
い世の中を明るく楽しい世界
に変えていきましょう。



佛さまは
あかりをつけて
歩いた人

(高楠順次郎)

私たちもかすかでも人の心
にあかりを灯していければ幸
せですね。朝日新聞の折々の
言葉に紹介されていました。

喜怒哀楽のうち 怒りと哀し
みは 積もるものであり
喜びと楽しさは 積もらない
(有富健)

だからいつも喜びと楽しさ
を発生させる努力は必要であ
る。笑顔でいれば人は集まり、
苦悶や焦りは周りは引く。喜
びと楽しさはどうつくつてい
くか。自分の形をみつつけよう。

道たのし
しきりに菊の
咲きあふれ

(万太郎)

かすみたつ ながきはるひを
こどもらと てまりつきつ
このひくらし

(御風)

今年の「堂屋敷谷戸」(築田寺境内)の
美しく咲いた草花たち



いわたばこ/ドクダミと八重ドクダミ/半夏生/カタカゴ(カタクリ)
アツモリソウ/セツブンソウ/蓮と水蓮/実生のもみじ/紫陽花 など

気づくと足元に美しい草花がみえますね。
あなたはみましたか。気づいたら人に話しましょう。
私はつい忘れがち。転ばぬように。

今月の詩

山路きて 何やらゆかし すみれ草(芭蕉)
よりそひて 静かなるかな かきつばた(虚子)
ほのぼのと 舟押し出すや 蓮の中(漱石)
菊の香や 奈良には 古き佛たち(芭蕉)
さまざまのこと おもひ出す 桜かな(芭蕉)
世の母は みな観世音 花の春(自得)
佛壇に 先祖こみあふ 涼しさよ(双魚)